※令和５年度以降入学生用

学校番号	321

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新現代の国語　（三省堂）						
副教材等	常用漢字クリア　（尚文出版） みるみる実力アップ現代文１　（第一学習社） 最新国語便覧　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・漢字をはじめとする基礎的語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読み、意味の分からない語句は辞書で調べておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・教材の選択に際しては、生徒が興味を抱くような教材を選び、語彙を増やし、正確な漢字の読みと書き取りの力をつけていく。評論では、現代のキーワードにつながる評論を取り上げ、時代を理解する基本的な考え方をまず認識できるようになること、さらに、一面的でない捉え方や自分の思考を深めて発展させていくことを目指す。
・以上のように、様々な文章の精読によって、豊かな言語感覚と多様な価値観を養い、お互いの意見や感想を交換し批評する力（伝え合う力）を身につけ、他者との円滑なコミュニケーションを図ることのできる力を養っていくことを到達目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりを通じて伝え合う力を高め、自らの思いや考えを広げることや深めることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を用いて他者や社会全体に関わろうとする態度を養う。

※令和５年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	説得力を高める ［教材］ 「折々の言葉」 「宝探しみたいに本の世界に入っていきます」	a：常用漢字の読みに慣れ、書くことにも取り組んでいる。 b［　書　］：引用の目的やはたらきを理解している。 c：コミュニケーションをとって、自分の経験を話し合おうとしている。	小テスト	ワークシート	ノート
二学期	情報を要約する ［教材］ 「届く言葉、届かない言葉」 「読むことのレッスン」	a：文章の組み立てや接続の仕方を理解している。 b［　読　］：文章を要約し、自分の意見、考えを伝えようとしている。 c：自分の意見をまとめようとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート
二学期	情報を整理する ［教材］ 「ひとまず、信じない」 「水の東西」	a：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 b［　話/聞　］：メディアとの付き合い方について理解し、自らの意見や考えを述べようとしている。 c：自分の意見を他者にしっかりと伝えようとしている。	定期考査	ワークシート	グループワーク
二学期	考えを共有する ［教材］ 「人が死なない防災学」 「檻の中の“街”」 「小さな哲学者」	a：実社会において必要な語句や表現を理解しようとしている。 b［　話/聞　］：音読において他者と協働しようとしている c：本文を踏まえて実社会との比較を行おうとしている。	小テスト	ペアワーク	発表
三学期	よりよい書き手になる ［教材］ 「ありのままの世界は見えない」 「ものとことば」	a：言葉の働きについて理解している。 b［　書　］：他者の意見を読んで、自らの考えを広げ、深めている。 c：他者と協力して、話し合いの結論を導いている。	定期考査	グループワーク	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

※令和５年度以降入学生用

・読むこと　　…　　（　１５　）時間